

が 9 月 1 日は「防災の日」です。今回は、災害が起きる前に、どんな準備が必要なのか、災害が起きた時に、どんな行動をしたら良いか、お伝えします。

地震や台風などの災害が起きて、安全な場所に逃げる時のために、家から持っていくものを自分で準備しておいてください。3日分の水と食べ物、薬、ケガの処置に使うもの、お金、服などをかばんに入れて、すぐに持っていけるようにします。車にも、水や食べ物を入れておきます。また、どこに逃げるか、家族でどこに集まるか、どうやって連絡をするか、話して決めましょう。大きな公園や学校が逃げる場所になっています。

地震が起きると、地面が大きく揺れます。物が落ちてきたり、家が倒れることがあります。家の中の物が倒れたり落ちてケガをしないように、家具などを動かさないようにしたり、人の方に倒れないように向きを変えてください。

地震が起きて地面が揺れている時は、机の下に入って頭を守り、上から落ちてくるものに気を付けます。揺れが止まったら、すぐに火を消して、ドアを開けて逃げる道を作ります。外の様子をよく見てから、今いる場所が危険な場合は、安全な場所へ慌てないで逃げましょう。上から落ちてくる物、下に落ちているものに気を付けます。外にいる時は、広い場所に逃げてください。逃げた後は、後からくる地震に気を付けて、テレビやインターネットの情報に注意してください。

台風が来ると、たくさんの雨が降って川の水があふれたり、強い風で物が飛ぶことがあります。台風が近くにくる前に、家の周りを見て、風で飛びそうな物は家の中に入れます。危険だと思ったり、テレビやスマートフォンで避難するよう指示が出たら、すぐに逃げてください。水で道が見えなくなってから逃げるのは危ないです。

逃げるのが遅れて、2階など家の中で安全な場所にいることができる時は、家の中にいます。川の水が家の中に入ることがあるので、お金などの大事なもの、服、布団などは、2階などの高い場所に置いてください。

たくさん雨が降ったり川の水があふれた時に、水に浸かる場所は、市の「ハザードマップ」で確認できます。家や会社、よく行く場所が、どのくらい水に浸かる場所なのか、見ておきましょう。

